鳥取 YEG通信
TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP
12
発行：令和７年 12 月 15 日
鳥取商工会議所青年部
広報委員会
鳥取商工会議所青年部通信

■令和７年度 会長あいさつ

鳥取商工会議所青年部
会長　民野　泰稔
株式会社　三協商会

師走の候、皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より鳥取商工会議所青年部の活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

10月31日・11月1日には、第43回日本商工会議所青年部中国ブロック大会がいな米子大会に、鳥取から約50名が参加しました。記念式典において綱領・指針を皆で読み上げたことで、46単会の仲間との強いつながりと一体感を感じ、とても感激いたしました。分科会では、鳥取・倉吉・米子の代表者が政策提言について発表し、それぞれの地域における効果や可能性を示しました。主管単会である米子ＹＥＧの懸命な姿にも、深い感銘を受けました。

11月2日には、まち興し委員会主催で「麒麟獅子舞フェスタ」に参加し、縁日ブースを運営しました。子どもたちやご家族の笑顔に触れ、地域の伝統文化に貢献できる喜びを改めて実感しました。

11月9日には、第４回高校生ビジネスプランコンテストを開催し、地域の和菓子店・スイーツ店のご協力のもと、４チームの高校生が素晴らしいアイデアとプレゼンを披露しました。この貴重な経験が、彼らの未来や地域にとって大きな力になると信じています。

11月15日には、津山でのロゲイニングにも参加し、他単会の仲間と街並みを巡りながら交流と学びを深めました。

本年も皆さまのご尽力により、鳥取ＹＥＧの活動は大いに前進いたしました。深く感謝申し上げます。来年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

11月例会　第４回高校生ビジネスプランコンテスト

第４回高校生ビジネスプランコンテストは、多くの皆さまのご支援のおかげで、大成功のうちに終えることができました。まずは、協力企業の亀甲や様、宝月堂様、ｔｒｕｆｆｅ　ｄｏｎｕｔｓ様、屋根裏製作所様に心より感謝申し上げます。高校生たちのアイデアを形にしようと力を尽くしてくださったご支援が、大きな感動と成果につながりました。

そして、半年間の挑戦を走り抜けた高校生の皆さん、本当にお疲れさまでした。仲間と意見を交わし、失敗を重ねながら夢を追いかけた日々。その積み重ねが、当日の堂々としたプレゼン、震える声で未来を語った瞬間へとつながりました。その姿は会場全体を青春の熱で満たし、多くの大人たちの心を揺さぶりました。

当日はマスコミも多数来場し、若き挑戦者たちの姿がメディアで広く取り上げられ、地域内外で大きな話題となりました。

実際に『あんバタークロワッサン』を発売された宝月堂様。グランプリ受賞の『黄金フィナンシェ』を鳥商デパートで発表した屋根裏製作所様。高校生の情熱が、確かに社会を動かし始めています。

この感動を一度きりで終わらせず、次のステージへとつなげていきます。来年、さらに大きな飛躍が訪れることを、ぜひ楽しみにしていてください。今後とも温かいご支援とご期待を賜りますようお願い申し上げます。

ビジネス委員会　委員長　大塩　晋也

大塩委員長による開会宣言

熱意ある発表をする高校生

麒麟獅子舞フェスタ2025

令和７年11月２日(日)、県民ふれあい会館・鳥取鉄道記念物公園にて「麒麟獅子舞フェスタ２０２５」が開催されました。鳥取ＹＥＧは２０２２年より麒麟獅子舞の継承と発信に関わっており、本フェスタ実行委員会および因幡麒麟獅子舞保存会の皆様とともに活動を行ってまいりました。

当日は約１，５００名の来場者が訪れ、県民ふれあい会館ホールでは、各地区の保存会による麒麟獅子をテーマにした絵コンテストやフォトコンテストが開催され、受賞者の表彰式も行われました。館内ロビーでは、子どもたちが舞の所作を体験できるワークショップも実施され、多くの家族連れで賑わいました。

鳥取ＹＥＧは鉄道記念物公園内で縁日ブースを担当し、射的や輪投げなどの催しを通じて、地域の皆様と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

本フェスタを通じて、麒麟獅子舞が地域の誇るべき伝統文化であり、世代を超えて多くの方に愛されていることを改めて感じることができました。引き続き鳥取ＹＥＧとして、その継承と普及に寄与していく所存です。今後も皆様のご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

まち興し委員会　委員長　荒川　恵介

参加したメンバー

麒麟獅子舞の演舞

第43回 中国ブロックがいな米子大会

令和７年10月31日、11月１日、米子の地にて「架け橋～米子で見つける　ときめきの縁　～」を大会テーマとした、第43回中国ブロック大会がいな米子大会（以下、米子大会）が開催され、鳥取ＹＥＧメンバー53名と共に参加しました。

10月31日は役員会、委員会、会長会議が行われ、11月１日には記念式典から始まり、分科会、大懇親会と参加し、全員で米子大会を全力で楽しみました。

大会企画の立ち上げからキャラバンを行い、時間をかけて作り上げ、誠心誠意全力で大会運営を行っている米子ＹＥＧメンバーの姿、そして謝辞の際に涙を流す角実行委員長の姿、その全てに感銘を受けました。

私たち鳥取ＹＥＧは、５年後に鳥取の地にて中国ブロック大会が行われる予定となっており、中国ブロック大会に向けて気が引き締まる思いでした。

米子大会へ登録いただいた鳥取ＹＥＧメンバーの皆様、ありがとうございました。そして、米子大会を運営された米子ＹＥＧメンバーの皆様、本当にお疲れさまでした。

まち興し委員会　冨田　光政

拳を突き上げるメンバー

参加したメンバー

とっとり交通フェスタ

11月23日(日)、好天に恵まれた連休の中日に「とっとり交通フェスタ２０２５」が開催されました。過去７回の開催の中でも最も多くの皆さまにご来場いただき、会場は終日活気にあふれました。

本事業は、公共交通をより身近に感じてもらうこと、そして子どもたちが楽しみながら交通への理解を深めることで、公共交通の利用促進と認知向上を図ることを目的として実施したものです。

ＹＥＧに加え、県や市をはじめ、鉄道・バス・警察・消防など地域を支える公共交通機関が協力し、車両展示や体験型コンテンツを提供しました。体験コーナーでは、子どもたちが目を輝かせながら参加する姿が多く見られ、「普段見ることができない車両に触れられて嬉しい」といった声も寄せられ、公共交通の魅力を伝える良い機会となりました。ステージイベントやビンゴゲームでも大いに盛り上がり、来場者アンケートでも満足度は高く、「交通について改めて考えるきっかけになった」「家族と楽しい時間を過ごせた」といった意見が多数寄せられました。

地域の皆さまと行政・関係機関が一体となり、未来の交通に関心を寄せる時間となったことは、大きな成果です。

本フェスタが多くの方々の協力によって実現したものであり、参加・協力いただいた関係団体の皆さまに心より感謝申し上げます。

政策提言委員会　委員長　盛田　翔平

交通戦隊へ変身したメンバー

参加したメンバー

新入会員

三橋　栞里 君
（みはし しおり）
事業所名　アクサ生命保険㈱鳥取営業支社
所属委員会　まち興し委員会

浜崎　圭佑 君
（はまさき けいすけ）
事業所名　㈱北陽エンヂニア・サービス
所属委員会　会員増強委員会